

越谷 HAPPY HEART 会報

SINCE 1990



第 63 号 2022 年 9 月 24 日

越谷スクエアダンスクラブ

(越谷ハッピーハート)

〒336-0932

さいたま市緑区中尾 1982-1

会長 関口 正夫

Tel&Fax 048-873-3055

dosado@tbj.t-com.ne.jp

会長挨拶

会長 関口 正夫

2019年の11月以来の新型コロナウイルスの世界的な感染により、スクエアダンス活動も大きな打撃を受け、今現在も活動の休止やパーティーの開催も中止せざるを得ない状況が続いており大変な事態となっております。また、退会者も増え、全国の愛好者は10000人を割り込み、高齢化におけるS協会員の減少などスクエアダンス界にとって大きな課題となっております。



高齢化に伴い、これまでのような例会の持ち方など抜本的な見直しが必要です。高齢者でスクエアダンスを始めるダンサーも多くなっており、いつまでも生涯スポーツ・レクリエーションとして、なるべく長くスクエアダンスを楽しんで頂く工夫も必要です。

高齢化により身体のどこかに腰、手足など痛みや、聴力の衰えなどがあり、上記のような心身の変化に対応した例会や、体験会の持ち方を工夫し周りの人々が温かく見守り、長く踊り続けて頂くための配慮が必要となっております。

周りでのエスコートや、休憩時間での和やかな対話なども欠かすことは無い様に温かい目で見守って行きましょう。そういった対応が末永くクラブ員として活動していただくことに繋がっていきます。

尚、上記の原稿はS協の「スクエアダンスをいつまでも楽しく踊るための工夫」より一部抜粋しております。

最後になりますが私事ですが、7月から体調を崩し1カ月ほど入院し、その後現在自宅にて静養しております。例会が再開し、会員の皆様と一日も早く例会に復帰できる事を願い会報の挨拶とします。

63号の主な内容

1. 会長挨拶
2. 相談役退任宣言の撤回(辻田相談役)
3. 体験教室が開催されました
4. 越谷 SDC に入会して(本間美咲子さん)
5. コーラー講習会に参加して(黒沢雅之さん)
6. 例会が再開されました
7. 越谷 SDC 座談会
(越谷 SDC 発行済みの会報・記念誌から)
8. 「第8回連載コラム(第3話)」
9. 越谷 SDC 特別例会の記録
(越谷 SDC 発行済みの会報から)
10. スクエアダンス界の現状

相談役退任宣言の撤回

相談役 辻田 満

30周年記念誌において私は相談役の退任を宣言いたしました。そもそも退任を決意したのはまだコロナ禍が本格的にまん延する以前であり関口会長も健康で立派にクラブを運営してくれているのでそろそろ私もクラブ運営から身を引くべき時期と考えたからなのです。



しかしその後、長期のコロナ禍でスクエアダンス界は大打撃を受け、越谷SDCも2年に亘り活動を自粛せざるを得ず、その間に30名近い会員が退会しました。創立10周年で100名の会員となりそれから30周年までの20年間一度も会員が100名を割ったことはありませんでしたが、現時点で会員は89名と激減してしまいました。また、4月から月2回の時短変則例会を開催しておりますが未だ20名近い会員が例会に顔を見せておりません。

このようなクラブの危機的な状況下でなおかつお元気であった関口会長が大病を患いしばらくクラブ運営が困難な状況に置かれてしまい、30周年の時点からクラブ環境が激変してしまったのです。

このような状況下では相談役として退任をすべき状況ではなくなったと判断し「退任宣言」撤回した訳です。もうしばらくはコロナ禍が収まり会員が戻ってきて以前のように賑やかな活動が再開されると共に関口会長が病を克服してお元気に復帰されるまでは相談役としての務めを果たしたいと思っています。

体験教室を開催しました

向山 倍生

7月14日(木)13:00~14:00 中央市民会館3階ホールで体験教室を開催しました。梅雨明け宣言はありましたがうっとうしい曇り空の天気にも負けず体験者の皆さん、会員の皆さんが多数参加してくれました。2020年の体験教室がコロナ禍により途中で中断されて以来の開催でした。

体験者は、5人の申し込みがありました当日になってコロナ第7波の感染拡大の恐れから1名が参加を見送り4名の方が参加してくれました。最初は3セット途中から4セットで踊ることができました。体験教室は日本スクエアダンス協会の共通コース7項目を使って行いますが体験者の皆さんは少し戸惑いながらも会員の皆さんと同じ様に踊っていました。最後は大川康太郎さんの音源を使って踊ってもらいましたがスムーズに踊れていました。初心者講習会にも参加を希望していましたがコロナ感染の第7波の拡大により延期になり残念です。

渉外部・庶務部・機材部の方々、またダンサーの皆さんの協力により賑やかで楽しい体験教室をおこなうことができました。

皆様ご協力ありがとうございました!!

SD 体験教室に参加して

30 期生 浅野信子

2022年7月14日木曜日、4名の参加者を迎えSD体験教室が開かれました。向山さんの進行のもと、スクエアダンスの概要説明から最後に全員参加による踊りの完成まで至って和やかに楽しく体験できたのではと思います。



30期生の私にとっても、体験教室は初めてでした。振り返れば、3年前の4月、何の予備知識もなく見学のみのもりで参加したのが初心者講習会でした。それ以降はベーシックを覚えることに必死の日々で、何とか卒業式を迎えられたとホッとしたのも束の間、メインストリームも追加され身体（特に頭）全体が混乱している状態で現在にいたっています。こんな情けない状態の私なので、今回のように体験教室から（基本の基本から）再スタートさせていただけると大変うれしいです。ベーシックからしっかり学び直しをしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



SD 体験教室に参加して

30期生 古屋綾子

私は可愛いコスチュームに惹かれて、体験教室に参加せずに入会させていただきました。MSの基本講習終了後にコロナ蔓延のために休会になり2022年4月に待望の会が再開されましたので、今回の初心者体験教室は私にとっても初体験となりとても新鮮でした。



向山さんからのスクエアダンスの歴史や概論を一緒に伺わせていただき、改めて理解を深めることが出来ました。また、体験にこられた方と一緒にセットで体験できたことで自分自身完璧に出来ていないながらも、暖かい眼差しで見てあげたいと思いながら踊りましたので、同時に長く踊られている先輩の方々も初心者だった私達を暖かく見守りながら教えていただいていたのではないかと改めて有り難いという気持ちになりました。「初心忘れるべからず」という気持ちを念頭にこれから初心者の方と一緒に基礎から学べる機会に期待と感謝をしながら更にステップアップしていきたいと思いました。

「越谷SDCに入会して」

30期生 本間 美咲子

今年4月からお世話になっております。
昨年11月に新潟市から移転してきた頃は、どこのクラブも休止していたようでした。

年が明けて、新型コロナも少し落ち着き、住まいから近いクラブを探していたときに、越谷SDCと出会いました。

見学させて頂いた時は、会員数の多さに驚きましたが、皆様の雰囲気の良いさと大勢の方と交える楽しさを感じて入会を決めました。

私たちは、新人募集の際に「大人から子供まで、誰でも一度覚えたら身体が動く限り、何歳になっても楽しめます」とお誘いしていました。

今、私は自分でそれを実感しています。

二十数年親しんだ新潟のクラブから離れることは寂しいことでしたが、私がSDを再開したことにより、様々なところで出会う機会はあると思います。

日本全国、或いは海外でも、そこにSDの会があればお仲間になれる。本当に続けてきて良かったと思っています。皆様どうぞ宜しくお願いします。



「全国SD講習会に参加して」

28期生 黒沢 雅之

先日、国立オリンピック記念青少年センターにて、全国SD講習会が開催され、私はコーラー入門コースを受講しました。講師は、ジェイカーズの島田さんでした。講習生は男女11名でしたが、多くがSD歴10年以上で中にはクラブでコールしている人もいました。とんでもないところに来てしまったと思う反面、折角このような機会に恵まれたのだから、何か一つでも吸収して帰りたいとも思いました。



今回の講習会への参加を決意したのは、クラブ創設者でもある辻田さんの勧めがあったからです。MSもきちんと踊れない私には、時期尚早とも思いましたが、入会当初からコーラーになりたいとの思いもあり、まるで学生時代のように全力で講義に集中しました。夜は、翌日実施される4級検定試験の勉強をしようと思っていたのですが、疲れ果てぐっすり眠ってしまい、気がつくときすっかり夜も明けていました。

二日目は、早くもシンギングの勉強でした。講師の熱心なご指導もあり、講習も終わりに近づいた頃には何とか一曲シンギングができるようになっていました。私にとっては初めての経験であり、講習会に参加して本当に良かったと実感した瞬間でした。

講習会で得られたものがもう一つあります。全員同じ目的に向かって勉強した講習同期の仲間達です。

まだまだ未熟ではありますが、一日も早く一人前のコーラーになれるよう日々努力を重ねていきたいと思えます。



黒沢さんと一緒に受講した仲間達です(前列中央は島田講師)

ウイズコロナにおける変則例会の再開

2020年の2月末から越谷 SDC ではコロナ禍の急速な拡大で例会を始め全てのスクエアダンス活動が自粛となってしまいました。2年を経過する中でコロナ禍は一向に終息の兆しはありません。そこで、コロナ禍が完全に終息宣言されるまでは感染予防措置（検温・マスク・消毒・換気等）を実施し、木曜例会および土曜例会とも月2回の変則時短例会を2022年4月から再開することと致しました。

「再開された例会について書いて頂きました」

例会が再開された

11期生 江村 カネ子

例会の再々会中止 みんなの笑顔に元気をもらいどうにか体も動き出し、変則例会もそろそろ毎週例会に戻るのを楽しみにしていた矢先またも中止、何とも心が落ち着きません。いつまで続くのでしょうか 4 回目のワクチン接種も終わりました。コロナに気をつけながら再開を待ちます。



例会が再開された！！

15期生 吉田 建夫

例会が再開し、夜は車を使用することが家内に禁止されており、久しぶりに電車に乗った。

改札口で Suica を入れたら扉が開いてくれない。確かに残金はたくさん入っているはずなのに？

何度か繰り返しても・・・駅員さんに訴えたところ不使用期間が規定を過ぎているのでロックがかかっていますとのこと、解除してくれて漸くホームへ。

電車に乗ると、いろいろな階層の方が以前と変わらず乗っている。年金暮らしの私はコロナを避ける生活ができていたことを感謝しつつ会場に入った。

懐かしい仲間の顔が目飛び込んできてうれしくなった。まだ参加者は少ないがダンスが始まるとあのウキウキする感覚が体いっぱい感じられ夢中で楽しんだ。帰り道も体がビタミン剤を飲んだようにすっきりして、スクエアダンスをしていれば、まだまだ生きられそうだとうれしくなった。



「例会が再開された喜び」

17期生 村山 孝子

例会が再開され、会員の皆さんと会えることは嬉しかったがプラスのコールを忘れてしまっている自分に気づきショックだった。2年間のブランクは思った以上に厳しい。例会が再開されるまでに、プラスのコールを確実に覚えまた楽しく踊りたい。



例会が再開されて

17期生 鷹野 千栄子

コロナ騒ぎが起きてもうすぐ三年になりますが、その間いったい何回例会に参加したでしょうか。短縮例会が始まったときには、MS.PS.全然踊れないかもと、ドキドキで参加しました。参加した皆さんが同じ気持ちだと言う事が分かったときにはすこしホッとしました。



短縮例会から通常例会に戻るのはいつ頃だろうと心待ちにしていた矢先、またまた中止、残念としか言いようがありません。

ダンスに年齢制限はありませんが、少々あせっている自分です。

例会が再開された喜び

18期生 村山 友子

「例会が再開」の連絡、少し運動したいと思っていた時だったのでやりたい様な「踊れるかなあ」と不安もありました。会場に入ると逢えた喜び、笑顔で踊れた喜びでまた来月が楽しみになりました。

月2回 踊れた喜びが増して来ました。これが続きます様に！願いも虚しく また休会！ 何時になったら楽しめるようになるのでしょうか。



例会が再開されて

22期生 平塚 緑

2020年3月にコロナウイルスのため中止になった例会が2年ぶりで再開されました。でも、隔週で一時間半でした。それでも会員の皆様にお会いできて、本当に嬉しかったです。「お変わりないですか？」と近況を伺い、元気で会えた事が本当に幸せでした。

スクエアは、最初はスムーズに踊れません。間違えて照れ笑い。それでも楽しくて幸せな時間は、あっという間でした。

8月9月はまた休会です。お会いできる日まで皆様お元気でお過ごしください。



例会再開について

23期生 上村 夏江

約2年6ヶ月の休会を経て待ちに待った例会が再開されました。久しぶりに会う皆さんも元気そうに見える、休会中は皆さんどんな生活をしていただろうか、きっと早く例会が再開されるのを待っていたんだろうなあ〜。覚えることは大変だったが忘れることの早い事、動作の最後があやふやで、向いている方向が微妙に違っていたり、簡単な動作をど忘れしてヒヤリとしたりで始まったダンスも慣れてきた所でまた8・9月の例会が休会になり残念に思います。



ダンスをしている時は楽しい 早く例会が再開される事を楽しみにしています。

例会再開の喜び

26期生 倅田 なお子

コロナ禍でままたらぬ日々。21世紀だというのに戦争が起きる。嫌なニュースばかりだ。

そんな時に例会再開の知らせがきた。思わず「ヨッシャ〜！また踊れるぞ」とガッツポーズでもちょっと待てよ。2年3ヶ月ぶりの参加だ。いつも座ってばかりいる足腰は大丈夫か！テレビの音を大にして聞いている耳はどうだ！今日何曜日だっけ……と分からなくなる頭！とても心配になった。

しかし 取り越し苦労に終わった。「元気だった？久し振りね」と再会の喜びで皆笑顔だ。会話ははずみお口の錆も取れなめらかに、足腰は動いているうちに軽やかさが戻ってきた。そして余計な事を考えずに集中して踊る……これがいいんです。

私の元気を後押ししてくれるSDはやっぱり楽しい。コロナウィルス第7波が一刻も早く収束し、また皆で手を繋ぎ踊れることを、キリンじゃないが首を長〜くして待ちたいと思う。



例会が再開して

28期生 宮地 美和子

“2年ぶりの例会参加”7月から目標を決め意気込んで参加したのもつかの間、またコロナで休会になってしまうのが残念で仕方ないです。

温かく迎えてくれた先輩の方々、気づかせてくださったやさしいMS、踊れたことがうれしかったです。遠のくPlusですがコロナが治まりまた開催できることを願っています。



例会の再開に一喜一憂

29期生 野津富美子

待ちに待った例会がやっと再開される。これで又、大好きなSDが踊れる。2年半のブランクに期待と不安の入り混じった思いで、ワクワクドキドキしながら会場へ足を踏み入れたあの日。音楽が流れるとまるでタイムスリップしたかの様に勝手に身体が動き出し、どの顔もみんな笑顔、笑顔のオンパレードだった。帰宅後も暫く高揚感が収まらず、改めて自分はSDが好きなのだ、と実感したまでは良かったのだが…



さあ、これからまたSD漬けの日々が復活するぞ！と勢い込んでいたある日、突然我が家に悲劇が訪れた。家族が病に倒れ、介護が必要になってしまったのだ。今まで、例会は一日も休まず頑張って来たのに…もう、辞めるしかないのか…一時は、退会も考えたが、辞めたら終わりだよ。毎回でなくても行ける日は協力するから、との同期の励ましや辻田さん、畠山さんの温かいお言葉に、続ける事を決めた。今は、福祉制度を利用し、同期や子供たちの協力を得て何とか続けられている。これから先、どうなるかわからないが、行ける時は、何も考えずに楽しもうと思う。SDの良い所は、踊りに集中できる事だ。

*スクエアダンスが再開して

30期生 小堀 博志

2020年3月からコロナ禍で例会が中止、私のスマホのスケジュール表から例会の予定が消えて、2年2か月。今年4月に再開した時は、喜んで木曜日と土曜日の例会に参加させていただきました。コーラーさんの声を聴き、体を動かすのに、この2年間のブランクは私にとって大きい痛手でした。が、それを上回るスクエアダンスが出来る喜びに浸り、楽しく参加させて頂いています。



昨今の第7波で8月・9月は休会になるとのこと。次回も万全な体調で臨めるよう日々健康管理に気を付け、早期の再々開を願って……………。

「座談会の記録を比較することによって越谷SDCを振り返って見てみましょう。」

1. 越谷ハッピーハート設立4周年座談会「クラブへのゆめ」

1994年7月2日(会報第7号より)

SDとの出会い クラブとの出会い

司会;ではまずSDを通じ越谷HHへ入る動機などからお話してください。

A;フォークダンス仲間から電話で誘いがあり、生涯学習に通ずるなにかスポレク的なものがあったもいいじゃないかと思っていた矢先であったから。

B;チラシを見てすぐ電話しました。SDは頭にも身体にも適度にいいので生涯スポーツとして続けていくつもりです。

C;やっていたバレーボールが解散寸前のところでタイミングよくお誘いを受けたから。

E;女房と子供がSDをやることになり、ひとりぼっちでいても仕様がなないので私も始めました。

F;主人より見るだけと言うことで誘われた。楽しみながらの体力維持とボケ防止に役立っています。

G;クリスマスに来よう誘われ、行ってみるとゲームに入れさせられ、おまけにプレゼントまで。そのうち東大宮で埼玉ジャンボリーというのがあるから見に来ないか、ということで行った。もうこれだけ誘われてはと観念した。

H;最初息子が誘われていたのですが、息子が引っ込み思案でいるので、私が代わりに覗きに行ってミイラ取りがミイラになった。一度見に来たのが運の尽き。のめり込んでしまった。

I;新会員の募集はこれが最後だと誘われ見に行った。その時男性二人が混じっていたが年令からしてあの人ができるんなら大丈夫と思い参加した。



今のわがクラブの印象は

E;他のクラブをみると普通の例会が 2~3 セットで欠席者が多いみたいですね。人数が少ないと元気が伝わってこない。うちの場合いつも和気あいあいでハゲミになる。このまま増えていくと将来どうなるのかな?クラブを分けなければならなくなった時はどうしようか、なんて考えたりして。

B;主人は時間的に大丈夫なので、何とかして一緒にやれるように……。だから今度のナイスカップルデーには是非連れてきたい。

D;男性役ができるのはすごく良かったと思っています。よそのパーティーに行った時など進んで踊れるでしょう?サークルに入ってしまうば同じですから。でも例会が一番楽しいです。友達も大勢いるし、明るいしね……。

H;自分ではコスチューム意外に似合うと思っている。子供も同意(但しそっけなく)してくれてるし、誰もそれを拒否しない。最高に幸せ。私自身も人から変わったね、って言われるんです。無口だったのがしゃべるようになって。

司会 ; コスチュームで若返るは、無口がしゃべるようになるは、いい事づくめで結構ですね。
(爆笑)

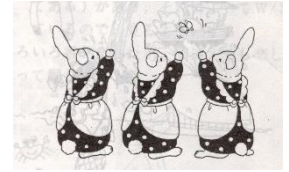


A;都合で続けられなくなる人はどうしても出てくる。好むと好まざるとに関わらず出る。むしろそれに備えての減員対策が大事で、それには新しい人を絶えず迎え入れておくことが必要。それがクラブの活性化につながる。また他のクラブに比べてどうかという点では、クラブにはそれぞれ生い立ち、背景があるから一概に云々できない。越谷は越谷なりの特色があればいい。それをどう打ち出していくか、が大事だと思う。

G;会社関係しか知り合いがないわたしにとって、週に1度の限られた時間のお付き合いは年齢構成もバラバラですごく新鮮だし、暑い世間から出てきて冷たい水に浸るような魅力を感じますね。



C; FD から来た人はすぐやめる、と見られがちですが、SD には SD の良さがあり、マイペースで越谷 HH で楽しませてもらっています。クラブもマイペースでいいと思います。うちのクラブも過渡期にさしかかっていると思いますが、今の和気あいあいの雰囲気と会員が越谷市だけでなく広い地域から来ているために話題が広い点などありがたいです。



F;尊敬すべき先輩に教えていただいたお蔭で、楽しく踊っています。それに反して、後輩に手を差し伸べられないのが残念ですが、とにかくクラブで皆さんと会えるのが楽しみ。そうですね……クラブの雰囲気……、例えば、えゝ ‘夏の青空’ っていう感じ。スカートとして。

みんなで役割分担、どうしたら？

D; 特定の係りの負担が重くなっているということ、あるいは費用が予算以上にかかって、それがいつもとなると負担になってしまう。荷物運びなんかもそれがあるために休めない。

司会 ; どうしたらいいと思いますか？

D; 一つには予算の中でやるようわりきるとか、みんなが全ての係りを順次経験してもらうとか。

F; 臨機応変に出来るようにしないと。固定しないで複数の人の中で都合悪ければ代わりあう。

D; 行事ごとに特別編成にしたら。

B; エスカレートが常習化してきているような。



D; 氷の人がたまたま休んで、不足した時など “これぬるいわね” なんて言われちゃうと、こっちは一生懸命やっているのに、その人が経験していれば言えないと思うんですよね。

これから人数がますます増えてくると大変になっていくと思いますが、いい知恵を出し合ってやりやすいようにしていきましょう。

退会への歯止めも大事

B; 何かわからないままにやめて行く人についてははっきりしないものを感じる。

司会 ; やめさせない手だては何だと思いませんか。

D; やっぱり誘ってもらえない、残されてしまう淋しさ。気の弱い人にはこちらから誘ってあげることも必要なんですよ ね。あとスナックが気が重いつていう事もありますよね。



H; 手作りも結構なんですけど、私みたいに勤めをもつてると不可能な人もいますよね。何か作らなければと思うとすごく負担です。より安く、より負担を少なく、が望ましいです。

司会 ; こういう様々な条件を背負ったメンバーの集合体の中での本当の平等な負担とはどういうことなんでしょうね？ 単に均一な分担とは違うかもしれない。全員参加ではあるが、それぞれが出来る範囲で負担しあうことを認め合い、それが会員相互の助け合いの精神に通ずる。そんな形が一つの理想のような気がします。

D; でも、出来ない！ っ一言で言われてしまうのも困りますよね。

C; だからただ出来ないじゃなくて、私これなら出来る、っ言ってくれればいいんだけど。

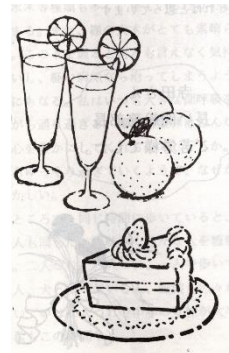
G; 例会のスナックは飲み物くらいあればそれでいいと思うが。どうなんですか？

D、C;でもそれは伝統みたいなものじゃないですか？また少しあったほうが和気あいあいにもなるし。

E;イベントでもあまりムリにならないようにしたほうがいいですね。

A;先例よりもベターなものをと積み上げていくと、いつかムリに。だからスピードをちょっと落としてもいいのでは。

※ 当時はスナックは会員さんの手作りであった。



大事なクラブ、海外遠征、孫と一家で、自宅スタジオ

司会 ; 今度はクラブを通してのダンスそのものについて将来の夢のようなことを話し合いませんか。

B;いま居る会員を大事につなぎ留めていくことに全体が志向しているクラブ。自分のことと言えば、ゆっくりでいいから生涯を通じて楽しむ大事なものに……。将来、コスチュームバックに夢を詰めてニュージーランドかアトランタ、どっちにも行ってみたい。



A; 単身会員男性の役割って一体何があるんだろう。荷物を持つとかそういうことは兎も角も、ある程度他を捨てても賭けてきたスクエアを正面から見据えた時どうなんだろう？ 悩みといえば悩みかも知れない。

C; たとえば先々、息子や娘、出来れば孫とも一緒に踊れたらいいだろうな。

これが夢。言葉だけでなく、接触しながら子供達と踊るなんてお酒以上に楽しいと思う。

E; 家ではだんまりタイプで家族との付き合い下手です。これから先 10 年後、家族全員でスクエアダンスを楽しめたらなーと思う。家を建て替える時が来たら、一階をスタジオにして好きなスクエアと歌もやれるようにしようかと思っている。

C; よそのクラブには出掛けられませんので、あくまでも、このクラブで最大限楽しみたい。

D; わたしもあまりよそのパーティーに出かけられない。ですから出来ればうちのクラブのなかでより多くパーティー気分を味わいたい。コスチュームをつけるとやっぱり気分が華やぐので、コスチュームを着ける回数を増やして、パーティー気分を味わいたいですね。



H; もう間もなく家にいるようになりますが、その時ボケーとしていないでボケ防止のために家に閉じ籠り切りにならず、どこへでも出掛けられるようになりたい。もう直だなーと思うとそれが嬉しい。

I; 例会を通じて楽しむのが私のモットーなので、これから 10 年 15 年先、年をとっても楽しめるような雰囲気クラブ。それにはムリのない、着実な歩み。そんなことを期待します。

司会 ; 大変建設的な意見、あるいはクラブにかかる期待、SD へ賭ける思いなどいいお話し有難うございました。

ご出席者: 猪股、高島、長峰、宮沢、川上、布施木(弘)、岩木(信)、橋立

司会進行: 布施木、岩崎

※イラストは当時の会報から借用しました。

2. 越谷ハッピーハート創立 10 周年記念座談会

2000 年 7 月 10 日 (創立 10 周年記念誌より)

企画委員会の検討経緯について

司会;まず 最初に、10 周年記念行事としてのアニバーサリーを企画検討してきた経緯をヒストリーとして残す意味からも、改めてお話ししていただきます。

A;アニバーサリーの参加人員が年々増加する中で、先ず会場の選定確保、それには日程の決定も必要です。広いということを第一義に状況判断の結果浦和ロイヤルパインズホテルの線を前提に費用の面やその他の点を検討いたしました。その後も検討を重ねつつ、実際に当該ホテルとも交渉し、実施日とのからみで費用を最大譲歩してもらうことが出来たことで、開催の見通しがつきました。



司会;大まかな経緯をまとめていただいた訳ですが、B さん。改めてここで 10 周年の記念行事としてのアニバーサリーを行う意味を、原点にかえってお話ししていただきたいのですが。

B;10 周年を迎えて、会員も 100 名の大台に届くところまで順調に発展してきたと言えると思います。しかし、ただ単に広い会場で行事を盛大にやるというだけでなく、そこに我々の意思を込めた企画がなければならないと思います。それをどう折り込むか? そういう観点から全クラブ員まで巻き込んでじっくりと意味付けを考え、他のクラブを見て回り、企画を練っていくには、もっと時間がほしいというのが実感です。

A;スタートをもっと早くすべきだったと感じます。例年のアニバーサリーと違った取り組みが必要なだけにね。

司会;C さん。女性の立場からどうですか?

C;推進していく立場からすれば、これも作りたい、あれもやりたい、という思いはあるのですが、一方一般会員の中にもやればやるだけ金銭的にも負担がかさむという、声があるのも事実だし、両方の感覚がありますね。

B;何を立案するにしても、委員会の場合だけで済ましてしまうのではなく、それぞれが期の所属会員に下したものでものを言う、ということが本来は必要なのではないか。



司会;歳も期も若い D さんはどんなふう感じてやっておられますか。

D;全クラブ員からアイデア、意見や提案を出してもらうような参加方式を考えるべきだと思います。

A;実行委員会に引き継ぐ前に、ワーキング部会で一つ一つの項目をつめて、あとは実行すればよいという形でつなぐのも一案ですね。

E;実行委員会ももっと出席し易いような形にもっていく。たとえばその下に小委員会を置くとか。

B;実は小委員会あるいはワーキング部会を立ち上げるということまでは決まっているんです。しかしそれも項目によっては早い時点から動き出さなければ間に合わないものがあるので急ぐ必要がありますね。

10周年を迎えて今のクラブは今の自分は

司会; 皆さんが入会したころのクラブと10周年を迎えた今のクラブをどう思っているか、または皆さん自身がどう変わり、どう感じているか、などについてお願いします。

B; 入会間近のころはよくわからなかった点もあるが、分かってくるにつけ、クラブというのは共同社会なんで、あまり規則々々でしぼるのは良くないが、全員が持ち分を心得てそれを果たしていく事が必要なんだということは、一貫して感じていることですね。

A; 新しい生活サイクルで当初の一年くらいは夢中でした。その後役職も回ってきてからは、打てなかったワープロも覚えたり。これもクラブのお陰です。

C; 私が入った頃はダンスを覚えるのに楽しい一方でしたが、副会長を受けてからは変わってきました。ダンスも自分の好みだけで踊っているわけにはいかないし。多少なりとも気を回さなければならなくなりました。

D; 会員数が増えてきているだけ例会が賑やかになり、確実に例会がより楽しくなっていますよね。

E; 私が入会した頃はまだ会員数が60名弱で、会長が例会の欠席チェックをしてビギナーのフォローをしているのを見て、なかなか面倒見がいいんだと感じた。



司会; SDを始めてゴルフを止めてしまった。スクエアも楽しみ、人生の他の部分も楽しむ。いわゆる楽しみ上手になること。これがこれからも続くアジャストの面でしょうか。

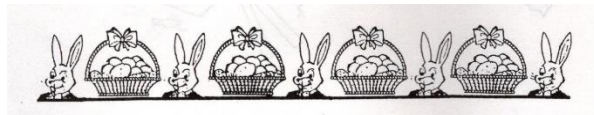
忘れなれない思い出

E; クラブが誕生した1990年、仕事で一月の中でだいたい10日間位は家を空けて全国を飛び回っていた。仕事の改善にも情熱をかけてワイワイやっていた頃が思い出されます。SDと関係ない所で。

その頃の自分と今の自分。これが同じ自分かと思うと面白いです。

D; やはり研修会・講習会でしょうね。全国に仲間が増えて。そういう点で面白かった思い出になっている。

C; 今はやめてしまった、私を誘ってくれた職場の仲間ですね。私がSDと関わるきっかけを作ってくれたことへの思い出。2年目になると相手を見つけるのが大変でした。男性役やるのにも苦労していたのが思い出されます。



A; なんと言ってもビギナー講習を受けたときのこと。皆さん優しくしてくれて、なんて素晴らしい人達なんだろうと感激しました。ポルテコホールでの卒業式、こんな立派なホールで皆なが“おめでとう！”って祝福してくれて。感動しましたね。

B; 私にとっては、入会そのこと自体が忘れられない思い出です。入るなら例会を休まないで出席できるような環境を作ってから入ったほうが良いという声を聞き、それから2年間どんなに誘われても入らなかった。そのかわり、入会してからは皆勤賞ものだった。やってみると、これをやっていけばボケないぞ、ということで今も続いています。

今後のクラブに対する抱負

B;せっかく縁あってみんな入ってきた、入ったからには楽しんでもらいたい。今後会長一人で運営はできっこない。であれば、みんながこのクラブの会員である事に誇りを持つような気持ちで、全員で運営にあたるクラブを目指していければと思っています。

A;楽しい例会につきる。その根底にあるのが“マナー”です。マナーが確立されているクラブ、その例会は絶対楽しい。



司会;具体的に言うと?

A;誰かが間違った時、楽しい雰囲気を壊すような引っ張り、こづき。スマイルをどこかに置き忘れてしまっているような表情などは当然無くさなければならない。ほかにも心地よい動きを壊すような回り方、手の出し方。

C;付け加えて、スイングの時に目が回るほどまわしておいて、あとから“目がまわった?”なんて聞くんだから。

司会;相手構わず、ビギナーさんにでもトワールを必ずと言っていい程長々とやっている人なんかもね。人によっては超低血圧・貧血の方だっているんですから。

C;スナックの持ち方もクラブの成長に合わせて変えていってもいいのかも。

D;その他セットを横切るとか。いけないとはっきり教えたほうがいい。引っ張られたりされると、ビギナーさんでもそのことははっきりわかっています。

E;会員全員が偏りなく仕事に参加するクラブ。そして気持ちのいいマナーに溢れた楽しい例会。これが活気に満ちた今後の越谷ハッピーハートがめざすべきクラブ像ということになるのでしょうか。

司会;結論が出たようです。今日は本当にありがとうございました。

ご出席者:寺田 修、斎藤 寅四郎、手島 雅江、関口 正夫 (10周年記念行事企画委員)

三田 和男 (10周年記念誌編集委員)

司会進行:布施木 新 (10周年記念誌編集委員)



10周年アニバーサリー集合写真

第8回連載コラム(第3話)

辻田 満

第8回目となる連載コラムは第4話シリーズにわたって「スクエアダンサーの道德教育」について書きます。第3話では「スクエアダンス十則」についてです。この「スクエアダンス十則」については何度となく連載コラムに取り上げて参りましたが、決して読み飛ばすことなく何度でも暗記できるまで読み込んでほしいと願っています。それほどこの「スクエアダンス十則」は愛好者にとって必要不可欠なマナーでありルールなのです。

3. スクエアダンス十則

私達スクエアダンス界にはマナーをより具体的に表現した「スクエアダンス十則」があります。これはアメリカにおいて思いやりと礼儀を基本とした最も大切なルールとして作られたものです。そして、この基本ルール(Ground Rules)は今なおスクエアダンスの楽しさを永続させるために最も基本的なルールとして全世界の愛好者に守られ続けられています。私達はこれら十則の意味を十分に理解した上で、これらをマナーとしてではなくルールとして守っていく認識が大切です。このスクエアダンス十則は初心者講習期間中に必ず講義に入れて頂きビギナーだけではなく毎年あらためて会員全員に聞いて頂きたい極めて重要な内容です。各クラブではこのスクエアダンス十則をどのように説明しているでしょうか。私は下記のように説明しています。

第1則 よく耳を傾けよ

スクエアダンスは踊りの振付が決まっています。その都度コーラーのコールによって踊りが振付けられていきます。したがって踊っている最中は常にコールに集中して耳を傾けておかなければなりません。踊りの最中にコーラー以外の方が踊りを解説したり補足したりするとコールが聞き取れなくなりますのでこのような行為は厳禁されています。

第2則 セットを早く作れ

スクエアダンスの1チップはハッシュコールとシンギングコールで構成されております。両方で踊りに与えられる時間は僅か12分~15分程度です。音楽が掛かりセットを作る場合は1セット4カップル8人のメンバーがそろわなければ他のセットがそろっていてもスクエアダンスをスタートすることができません。まだ4カップルそろわずセットが出来ていない場合は速やかに足りないカップル数を手で示してセットを早く作るようにしましょう。

第3則 礼儀正しくあれ

スクエアダンスは初めと終わりには常にパートナー・コーナーとの挨拶は欠かせません。礼に始まり礼に終わる礼儀正しいダンスです。笑顔でお互いにアイコンタクトを通じて礼をするこの行為は踊り自体をより豊かなものにしていきます。そして、最上の礼儀は常に感謝の気持ちをもつことです。

第4則 時間を守れ

スクエアダンスは1セット8人がそろわなければダンスを始めることが出来ません。したがって踊りに参加するメンバーはできる限り決められて時間までに集合することが求められます。あと一人くればセットが出来る場合でもその1人の方が遅刻することによって他の7人の方は踊ることが出来なくなってしまいます。もし遅刻もしくは欠席せざるを得ない場合は事前にその旨を連絡しておく必要があります。

第5則 考え深くあれ

スクエアダンスは常に大勢の方々と手と手を取り合って踊ります。したがって常に手は清潔に保つことが求められます。ダンスの前後はもちろん途中でも手を洗って清潔にしましょう。また、香水やオーデコロンなどはできる限り控えましょう。もちろんアルコール類は特別なイベント以外は厳禁です。また、ダンスの始まる前の食事もニンク類など口臭がするものは控えましょう。

汗かきの方は下着が汗で不快感を与えていないかなど常にメンバーが気持ちよく踊るためにはどうすべきかを考えてください。

第6則 協力を惜しむな

スクエアダンスは自分だけで楽しめるレクリエーションではありません。常に8人がお互いを楽しませるための責任を負っていることを忘れてはなりません。セットには必ずまだ経験の浅いダンサーが入っています。当然経験の浅いダンサーは踊るスピードや動作についていけずにセットを壊すこともあります。その時に経験の浅いダンサーを押しやり・引っ張ったりしてはいけません。経験の浅い方と共に快く一緒に楽しんで行くための協力を惜しんではいけません。

第7則 ムリをするな

体調がすぐれないとき、あるいは疲れて休みたい時はムリをしないで踊りに加わらなくても構いません。ただし、誘われてお断りしたチップは踊ってはいけません。例会に来て踊れない事情がある時は見ているだけでも勉強になりますのでセットに入らなくても構いません。つねにムリをしないことが大切です。

第8則 友情を深めよ

スクエアダンスは音楽に乗って踊る友情の踊りとまで言われるほど「友情」を大切にするレクリエーションです。踊り自体と同じくらいその友情のつながりが大きな楽しみになってきます。友情を長く保つためには常に「親しき仲にも礼儀あり」を忘れてはなりません。いつも同じ人を誘うのではなく可能な限り違った人を誘うようにして友情の輪を広げましょう。

第9則 常に学べ

初心者講習会でのベーシックに始まりメインストリーム、プラスと様々なプログラムがあります。そしてそれらのプログラムにはスタンダードアプリケーション(比較的壊れにくい体型からの動作)やエクステンドアプリケーション(壊れやすい体型からの動作)やDBDなど特殊な踊り方があります。スクエアダンスは各ダンスプログラムでこれらが踊れるようになるためには常に学ぶ姿勢と努力が求められる奥の深いレクリエーションです。

第10則 ほほえみをもて

スクエアダンスを楽しく踊るためにはコールを正確に踊るだけでは成立しません。そこにはあなたのほほえみが不可欠です。あなたのほほえみがいかに全体のダンスを楽しいものにするかを知って下さい。

(次号に続く)



特別例会をふり返ってみました。1998年～2009年（越谷スクエアダンス会報から引用）

◇ 1998年(平成10年)2月14日 :勝亦 隆夫氏 データが見つかりませんでした。

◇ 1998年(平成10年)6月6日 :タック 尾崎氏

◆「え、あのタック尾崎氏が我々のクラブに来てくださいますの？ウソ？ホント？」実は私が尾崎さんのコールをじっくり聞いて踊ったのは今年の志賀ジャンボリーでした。英語の発音、リズム感、その風貌までが日本人ばなれしていて、すっかりファンになってしまった私でした。でも忙しい方だと聞いていたので当日まで来てくださるかどうかが半信半疑でした。その夜お顔を拝見したとたん「ラッキー！今夜は楽しめるぞ」と確信しました。大いに楽しみ、興奮のうちに終わった特別例会でした。(会員さん)

◆エスニックな香りが漂ってきそうなコーラー、そのダンディな動きと流暢な、しびれるような低めの声にすっかり魅了されてしまった。心地よい緊張感と華やいだ雰囲気の中でタック尾崎氏の素晴らしいコールが響きお招きした近隣のお客様も、きっと十分に満喫されたのではないのでしょうか。(会員さん)



◇ 1998年(平成10年)10月17日 :野村 重一氏(RD)

◆10月17日(土)13:00～17:00 越谷市民会館にて城東 RD サークルの野村様ご夫妻を講師にお招きしてのラウンド特別例会は大好評でしたが、後半での易しい曲の講習は大変楽しく受講することが出来た。この様な楽しく分かりやすい特別例会での講習が年に数回企画されたら有難いと思う。(会員さん)

◆野村講師のすてきな笑顔と甘い声での講習。ラウンドにもいろいろなレベルがあり、やさしいステップから踊りこむことが大切とのお話しでした。特別例会でなければ知ることの出来ないことが沢山ありました。こんな例会が何回かあったらいいのにとと思う例会でした。(会員さん)



◇ 1999年(平成11年)5月16日 :山咲 隆司氏

◆5月16日 特別講師 山咲さんをお迎えして、北部市民会館にて、楽しいパーティーが催されました。

久々のパーティー出席組としての私は、いつもよりちょっとおしゃれしようかな、と思ったりして、ウキウキの子供みたいな気分でした。お話しの中で日本人はより高度な技術を望み、また マスターするのが早いそうです。それゆえに、誰でもが楽しめるコールを、バリエーションに富んだコールを、心がけていらっしゃるとの事、やさしいお人柄がうかがえました。(会員さん)



◆特別例会には、外部コーラーさんをお願いして例会とは違った雰囲気と、緊張の中で実りある一日をすごしました。日頃パーティーに参加できない方、SDを始められて未だ日の浅い方など、とてもよい経験だったと思います。いつも聞く事の出来ない個性あふれる素晴らしいコールを一生懸命聞き、踊れる幸せを感じて居ます。(会員さん)

◇ 1999年(平成11年)8月7日 :野村 重一氏(RD) データが見つかりませんでした。

◇ 2003年(平成15年)11月24日 :野口 嘉代子氏(RD)

◆久しぶりのRD特別講習会でした。講師の野口さん、男装の麗人でしたよね。どんな曲を講習していただけるのかと楽しみ半分、ドキドキ半分。「これぞラウンドダンス」という素晴らしいダンスを見せていただきました。私もいつかあんな風に踊ってみたい。(会員さん)



◆講師の野口先生の立ち居振るまいに、あちゃちゃと思いました。全身に神経がゆきとどいているみたいで、頭のとっぺんからつま先まで気を感じました。ダンサーとはかくあるべしという気がして、自分の神経を四肢まで行きわたらせなければと、普段の心かげの積み重ねが姿に現れるとかと思い、2004年度の指標は「筋迫感」ということにしようと思いました。(会員さん)

◇ 2004年(平成16年)9月19日 :尾崎 隆俊氏



◇ 2005年(平成17年)10月10日 :長束 保江氏

◆10月10日 美しい生花のコサージュをつけた講師の長束さんを迎えての特別例会でした。HHの会員と静岡フレンドサークル、他のお客様を入れ100名近い踊りの輪となり、ダンスプログラムが始まるとすばらしい長束さんのコールの声とスピード感に圧倒され、少し緊張しながらも楽しく踊ることが出来ました。



プラスでは普段余り踊らないコールですぐにこわれてしまい、プラスの奥の深さを改めて感じまだまだ私の前には、長い長い道がある・・・と思いました。(会員さん)

◆とてもなごやかに始まったパーティーでは、特に2人で組んで次々に4人のカップルになって踊ったツーカップルダンスがとても楽しかったです。プラスはちょっと難しくてあちこちでくずれてしまって少しレベルを下げてやさしくしてくださった事を思い出します。(会員さん)

◇ 2006年(平成18年)6月18日 :望月 進一氏

◆望月さんをお迎えしての“特別例会”出席を楽しみにしておりました。テンポの速いコール、良く透き通る独特な声と、組立の面白さ。初めてお会いしたのは全国講習会で“プラス”を受講した時の担当講師で、丁寧に教えて戴き、おかげさまでプラスをマスター出来たら、MSに自信ついた事が不思議でした。今回も私共の苦手なサーキュレートを初めレフト・ハンドその他、弱い処を教えて下さりさぞお疲れになられたことでしょう。上手く踊れて笑顔、こわれて笑い、充実した一日でした。(会員さん)

◆アジサイの花・花菖蒲が色鮮やかに自然の恵みをうけ咲く季節に、ゲストコーラー望月進一氏をお迎えしての特別例会に私達同期の仲間も参加しました。色とりどりの華やかなコスチュームハッピーハートの大輪の華が咲き楽しい一日でした。軽快な音楽、コーラーの望月様によりダンサーとの素晴らしい共演となり会場いっぱいの熱気でうっとりしい梅雨も吹き飛ばしてしまいました。(会員さん)



◇ 2006年(平成18年)10月29日 :八百幸 圭子氏

◆今年2回目の特別例会が、春日部エミナースで八百幸圭子さんを迎えて行われました。私が特別例会に参加したのは2度目で、エミナースを訪れるのも2度目です。ゲストコーラーの八百幸圭子さんが真っ赤なコスチュームで登場されとても華やいだ雰囲気が始まりました。例会ではあまりかからないコールもあり、こわれるセットも多かったようです。その度に解説を入れて繰り返しコールして頂きとても勉強になりました。(会員さん)

◆ゲストコーラーは八百幸圭子さん、スクエアダンス歴40年以上と聞いてえ……。それにしてもお若いと感心しながら、やはりスクエアダンスは身体と健康にいいからいつまでも若々しいのだと納得しました。先生のやさしくて熱心なコールに楽しい時間はあっという間に過ぎ大満足の日でした。(会員さん)



◇ 2007年(平成19年)6月17日 :井上 忠志氏

◆紫陽花が見頃になった候、藤代リバーサイドスクエアーズの井上忠志氏を講師に招聘し、特別例会が中央市民会館で開催されました。井上講師は流暢で、そしてユーモアあふれたコールで参加者を大いに楽しませてくれましたが、時に、厳しく指導もしてくれました。軽快な音楽、コスチュームの乱舞そして何よりも素晴らしい井上講師のコールとあいまって、時間は“あっ！”というまに経過してしまいました。(会員さん)

◆井上講師のコールに慣れないせいか、セットもくずれ気味、気を取り直して八人で呼吸を合わせて間違わずにできた時は、嬉しくて歓声が上がりました。相手の立場を思いやる心が大切と教わり、又オカリナのすきとおる音に何とも言えないすがすがしい気持ちになりました。(会員さん)



◇ 2007年(平成19年)11月28日 :大川 康太郎氏

◆プログラムの前半は大変静かに踊っていた様な・・・？ 私のコールを初めて聞かれた方は、最初は戸惑いがあった様に思いましたが後半はすっかり馴染まれ、楽しそうに踊られていました。初めてのコーラーは聞き取りにくいものです。皆さん、どんどんパーティーに参加して色々なコーラーでダンスを楽しんでください。(大川 康太郎さん)

◆お声もきれいでよく通り、リズムに乗った本当に楽しいコールでした。レフトアンドライトスルー等ミラーのコールは普段使わないのでセットが潰れてしまったり、アズアカップルの動きに戸惑った方もいたようでしたが、アドバンス以上の動きを取り入れて、工夫して楽しませているのが感じられ、十分満足できる一日でした。(会員さん)



◇ 2008年(平成20年)7月13日 :川崎 英雄氏

◆7月13日(日) 晴れ、うだるような暑い中 パコムにて甲府クリスタルの川崎英雄さんをお迎えしての特別例会が開催されました。川崎さんのパワフルなコール・トークは最高、キワメツケはナントイッテモ銭形平次です。十手にハッピーにかつら小道具もバッチリ、銭が飛ぶとダンサーは、もう拾うのに夢中になりダンスそっちのけ、全員大爆笑、笑いの渦があっちこっちでそれは盛り上がりました。(会員さん)

◆川崎英雄さんのコールで踊るのは一昨年の河口湖 SDC のアニバ以来久々なので、今回の特別例会が催されるのを大変楽しみにしておりました。相変わらずのノリの良いビートのきいたコールで大いに楽しく踊らせていただきました。特に噂に聞いていた「銭形平次」は、投げ銭のパフォーマンスが効果絶大で想像していた以上に盛り上がり会場全体が熱気と興奮のルツボと化しました。(会員さん)



◇ 2008年(平成20年)11月16日 :吉田 義夫氏

◆蒲生地区センターに於いて講師スクエアホビー吉田義夫氏をお招きして特別例会を実施の運びとなり会員大勢の参加で楽しませて頂きました。今が本人も一番楽しく、新鮮な感覚技術を取り入れコールされているのが見受けられました。私達を如何に色々な動きを知り楽しんで踊って頂きたいとの気持ちが伝わってきました。ありがとうございました吉田さん。(会員さん)

◆講師の吉田義夫さんをお迎えしての特別例会、大変楽しく過ごしました。あのすばらしい声と、聞きやすいコールで大変盛り上がり、また初めて聞くコールになると戸惑い、あちこちより笑い声とともにざわめきで次のコールが聞きとれず、止まったり走ったりで、あげくにセットをこわしてしまいました。でも最後までコーラーさんの声を聞き漏らすまいと全身耳にして大変楽しく踊り続けました。(会員さん)

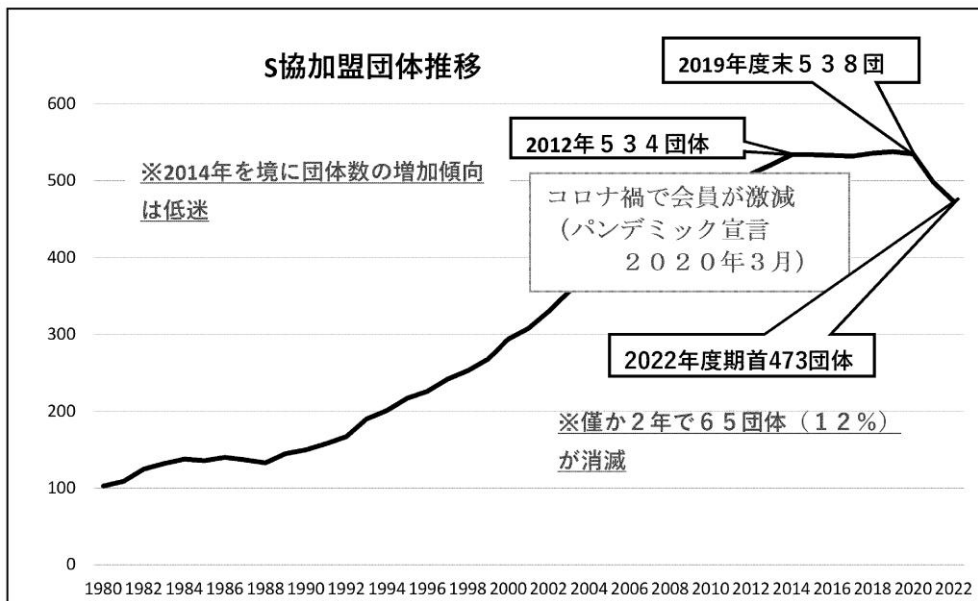
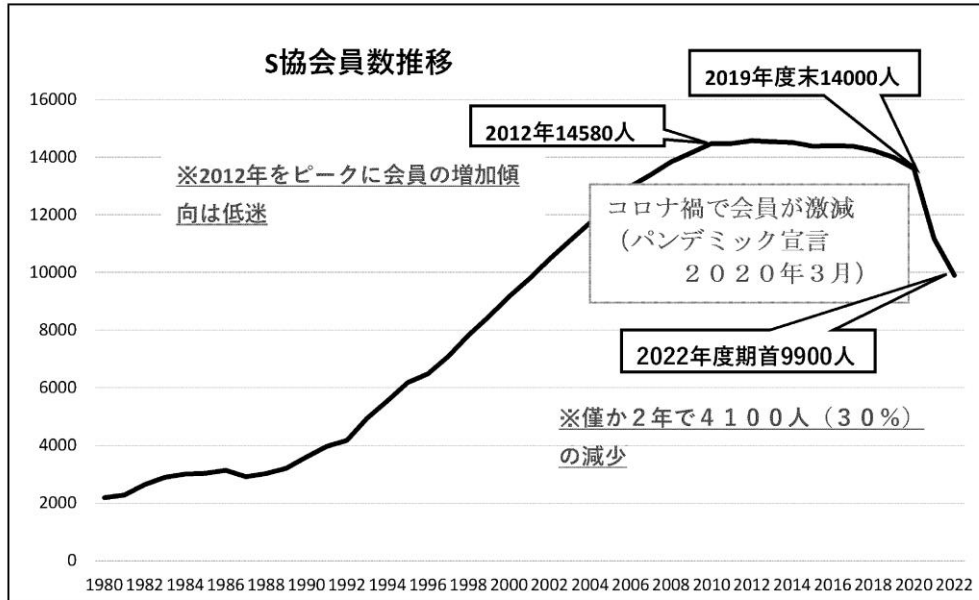


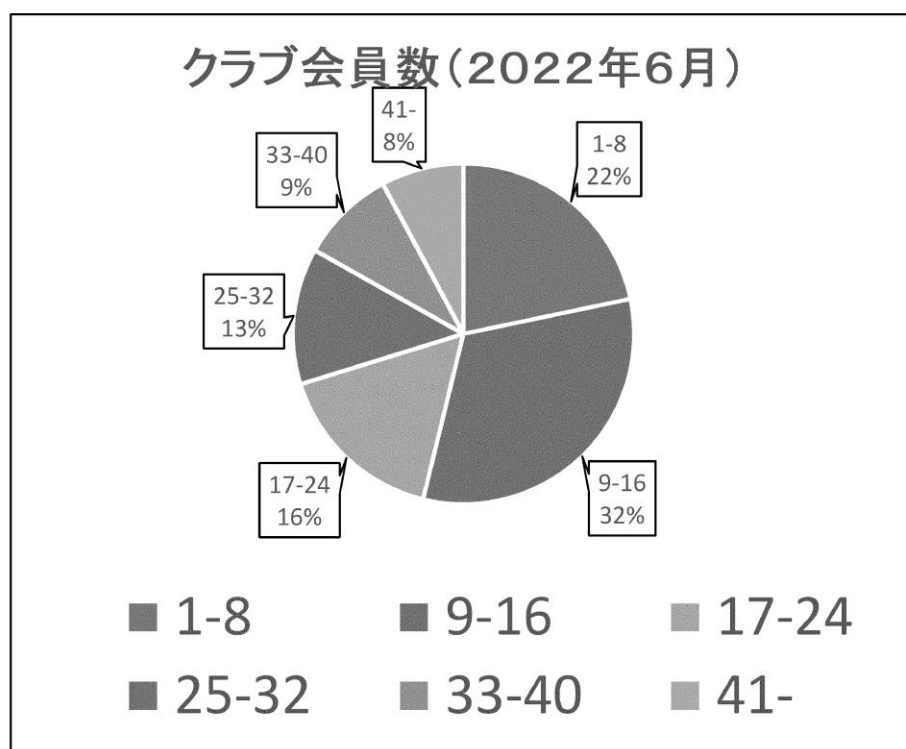
◇ 2009年(平成21年)7月12日 :窪園 弘治氏

◆逆ポジションの男性からスタートのティカップチェーン、レフトハンドからの動きなど頭で解っていても体がついていかなかったり、落ち着けばわかることもパニックになることもありました。窪園講師のさわやかなコールは聞きよかったです。色とりどりのコスチュームや華やかな雰囲気の中で盛り上がり、無になってダンスだけを考えて今日は楽しませて頂きました。(会員さん)



スクエアダンス界の現状（2022年8月）





日連有資格者コーラー数(2022年8月現在)

支部	全国	北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州
S協会員(人)	9903	486	606	5220	1438	1158	579	416
有資格者(人)	728	18	343	343	147	58	75	36
会員比率	7.3%	3.7%	8.4%	6.6%	10.2%	5.0%	12.9%	8.7%

編集後記

新型コロナウイルス禍により休会していた例会が4月から再開されましたがコロナ禍第7波の影響により8月・9月と3度目の休会になりました。非常に残念です。今号もこれまでに発行された会報と10周年記念誌から座談会と特別例会について振り返ってみました。

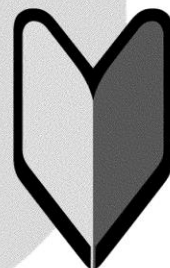
10月から木曜日・土曜日共月2回短縮時間で再開する準備が進められています。

向山 倍生

スクエアダンス

初めてでも
楽しい!

初心者講習会



Let's enjoy SQUARE DANCE!!

…… スクエアダンスって、知ってますか？ ……



スクエアダンスはアメリカ生まれのフォークダンスです。適度な運動量で年齢を問わずに参加できる健康的なダンスです。長期の巣ごもりだった身体をほぐし、楽しく歩いて足腰を鍛えませんか？新しい友達との出会いと喜びが待っています。



学生さんなら…

楽しみながら、
英語に親しめる！



郷ひろみ世代の方なら…

頭もカラダも
アンチエイジング！



ババママ世代の方なら…

気軽にできる
有酸素運動！



健康なシニアの方なら…

音楽に乗って
いつまでも元気に！



開催期間	●木曜クラス 月2回木曜日13時～14時) 2022年 11/10, 11/24、12/8、12/22 2023年 1/12, 1/26
当面の会場	11月10日中央市民会館3階ホール、 11月24日中央市民会館3階ホール
参加費	3000円(全6回分)
備考	卒業式 1月26日 残りの動作は会員登録後に継続して講習を実施します。 デビューパーティーDoSaDO パーティー 2023年2月5日(日)

参加申し込み先

【団体名】越谷スクエアダンスクラブ【講師】辻田 満

【連絡先】090-8007-5151 tsujita@alpha.ocn.ne.jp